

学校運営協議会議事録

作成日 令和5年11月22日

作成者 岩澤 和弥

会議名:令和5年度 第2回小田原高等学校 学校運営協議会

日時:令和5年11月15日(水) 14:50~16:30 場所:第一会議室

時程・議題

- (1)開会・校長挨拶 14:50~14:55
- (2)地域連携部会 15:00~15:20
- (3)学校評価部会 15:25~15:45
- (4)学校運営協議会(司会 副校長 / 記録 改田教諭・岩澤教諭):15:50~16:20

【学校評議委員会委員、学校担当職員】

- 1.石野会長より
- 2.出席者紹介
- 3.学校運営協議会各部会より
4. 令和5年度 学校評価 中間報告について(各グループ)

全日制課程

- [菊地原孝祐・総務グループ 総括教諭]
- [山口 真也・教務グループ 総括教諭]
- [由元 美保・研究開発グループ 総括教諭]
- [田中 雄士・キャリアガイダンスグループ 総括教諭]
- [井上 卓也・生徒支援グループ 教諭]

定時制課程

- [柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]
- [上杉 和弘・教育活動推進グループ 総括教諭]

5. 質疑応答・委員からの意見聴取

(4) 閉会

(2)地域連携部会

①全日制的活動について(菊地原総括教諭)

- 1) 令和5年度地域連携活動についての報告
- 2) 令和5年度小田原高校学校説明会の概要報告

[和田委員] 大井町のように、地域に一校の場合は目立つが、小田原市内では多くの学校があるので目立たない。小田原高校が地域貢献活動をおこなっているというアピールのためにもジャンパーなどを作ってもよいのではないか。着回しもできるので可能かと思う。

[松澤委員] 広報活動をさらに積極的に行ってもよいと思う。

②定時制的活動について(上杉総括教諭)

- 1) 令和5年度地域貢献活動実施報告
- 2) 令和5年度地域連携活動についての報告

[和田委員] ライオンズクラブから以前、地域に貢献することを行いたいと考えているというお話をいただいた。今後チャンスがあれば小田原高校との連携活動も話ができればとおもっている。

[市川委員代理松澤様] 小学校・中学校も海岸清掃をしているところをラジオ番組などで紹介してもらっている。卒業生の生徒も自分の存在が評価され喜んでいたという声を聴いている。

(3) 学校評価部会

①令和5年度年間進路指導計画（田中総括教諭）

年間進路指導計画は計画通り進んでいる。11月現在で58.7%の生徒は国公立大受験希望があり、それぞれの生徒に応じた進路指導を行えるように模試結果や予備校の情報などを通して生徒の状況の把握に努める。

[石野委員] コロナ禍から引き続いて安全志向が働いているか

→駿台ベネッセのデータでは、若干ランクを下げた希望が増えている。募集人員は変わらないので中間層の大学の倍率が高くなるのではないかと考えている。（田中総括教諭）

[石野委員] 生徒だけでなく保護者にもそのような傾向があるのではないか。目標貫徹のため励ましながら行ってほしい。

[市川委員代理松澤様] 昨年度の卒業生の保護者の経験として高校の先生に支えてもらったので、ぜひ今年度も生徒に寄り添って支えてほしい。

[川合委員] 在校生の保護者として、本人の行動にも変化を感じている。周りの生徒から受ける影響が大きいと思う。学校としての雰囲気づくりを大切にしてほしい。

②令和5年度前期生徒による授業評価アンケート（由元総括教諭）

おおむね3.5を超えて高い評価を受けている。過年度比較をしても大きな変化はなく継続した取り組みを受けている。学力向上重点推進校エントリー校・理数教育推進校としての指標では前年度より下がっているところがあるが、元から95パーセント前後で上がりにくい。維持はできている。

[石野委員] 授業評価に基づいて教員との面談はあるか

→授業評価に基づいてのものはないが、授業観察などのタイミングでの面談を実施している。（中島校長）

[石野委員] 授業力向上には管理職含めた研鑽が必要だと考える。

[川合委員] 数値に学年による傾向はあるか

→学年による傾向の差は出にくい、前期の実施するタイミングの関係で前期は低めに出ている。（由元総括教諭）

[石野委員] 授業評価は全県共通か。この結果は小田原高校内での検討か。SSHは他県の実践例も参考しているか。

→1～7は全県共通で8のみ本校独自。SSH等各校の比較は行われていないが、全県との比較は行われる。SSHの実践例は先進校のものを県外まで参観に行くなどし、校内でその成果を共有している。（由元総括教諭）

[和田委員] 楽しく勉強をしている姿が、生徒を前向きにさせている。大変だという意識を持たせすぎないようにするべきであると考え。昨年の卒業生ものびのびしている様子を見ていた。

(4) 学校運営協議会

① 石野会長より

コロナもくすぶるなかで、生徒を支えて行ってほしい。学校での様子を保護者に伝え、家庭での様子を聴くなど家庭との交流も積極的にしてほしい。

② 出席者紹介

③ 学校運営協議会各部会より

④ 学校評価中間報告について（各グループより）

○総務グループ [菊地原総括教諭]

- ・地域貢献活動は地域清掃を実施。学校説明会を2回実施。
- ・県西PTA地区大会も幹事校として実施した。

○教務グループ[山口総括教諭]

- ・教育課程の運用を担っている。SSH 指定校として「理数探究」のありかたについて研究開発グループと協力して進めている。
- ・学校管理、学校運営の面では成績処理の問題点を点検し、成績点検日を設けて職員の時間に余裕を持たせて成績処理を進めている。

○研究開発グループ[由元総括教諭]

- ・SSH 指定校の運営を主体的に行っている。苦戦をしていることもあるが五年後を見据えて取り組んでいる。教員の配置等も含め教務グループと協力している。
- ・HP の更新を行っている。HP の更新が遅れがちである。SSH に対する広報活動も HP をうまく使いながらおこなっていききたい。

○キャリアガイダンスグループ[田中総括教諭]

- ・進路計画の予定通り進んでいる。
- ・模試の結果などを適切に分析しながら進路指導をしている。

○生徒支援グループ[井上教諭]

- ・体育祭では、熱中症が懸念事項としてあった。開催時期も再検討したいが、3 年生の状況との調整も必要である。
- ・部活動は夏のインターハイに水泳・弓道の複数名が出場できた。
- ・本年度よし SSW の支援が充実し、生徒だけでなく教員へのアドバイスも助かっている。

○学習支援グループ[柴田総括教諭]

- ・オープンスクールで 10 件の見学、個別の見学も多く受けている。小中学校での不登校や集団のなかでの生活に不安がある中学生がいるという声を聴いている。中学生に様々な選択肢が増えている現状を鑑み、定時制課程のある意味について考える必要がある。教員と生徒のコミュニケーションの大切さを重視し、本校が「通う学校」であることを重要視している。

○教育活動推進グループ[上杉総括教諭]

- ・文化祭で飲食を久しぶりに出すことができた。全日制の生徒・教員などとも交流して実施できた。コミュニケーションをとるのが苦手な生徒が多いなか、経験を積ませることで社会性を育みたいと考えている。可能な限り多くの機会を獲得したい。部活動などを活用していききたい。
- ・かながわ子どもサポートドックでは、多くの項目で SSW・SC や医療機関などにつなげる必要がある生徒を見つけることができた。
- ・進路状況は難航している部分もある。

⑤ 質疑応答・意見聴取

石野委員 この地域において小田原高校は関心を集めている。学校の取り組みをアピールしてほしい。地域の活力のためにも発信が必要で小田原高校の使命であると考えている。同窓会などへの協力を求めてほしい。

和田委員 SSW が地域資源について理解が乏しいのではないかと。NPO が問題の領域を横断的に取り扱っている。SSW にも地域資源の活用の視点を持ってもらいたい。定時制では進路状況が難航している部分があるようだが、高校生の就職に特化した企業もあり、ぜひ広く多くの機関・企業と協力してほしい。

市川委員代理松澤様 中学生は高校生をあこがれとみている。元気な姿をみせてほしい。ICT の活用を積極的に行ってほしい。

川合委員 多様性の尊重が重要な時代となっている。その点においても変わらず配慮を続けて行ってほしい。

⑥ その他・今後の予定

第 3 回 3 月 6 日（水）開催予定